

2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月9日
東

上場会社名 メック株式会社 上場取引所
 コード番号 4971 URL <https://www.mec-co.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 和夫
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室 (氏名) 坂本 佳宏 (TEL) 06-6401-8160
 室長
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	8,728	7.7	1,836	34.4	1,819	30.4	1,196	18.8
2019年12月期第3四半期	8,104	△3.9	1,366	△21.8	1,395	△20.9	1,006	△29.6

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 1,196百万円(48.8%) 2019年12月期第3四半期 804百万円(△35.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	63.03	—
2019年12月期第3四半期	53.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	20,013	16,790	83.9
2019年12月期	19,991	16,091	80.5

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 16,790百万円 2019年12月期 16,091百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	12.00	—	14.00	26.00
2020年12月期	—	12.00	—		
2020年12月期(予想)				14.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,700	7.7	2,300	40.5	2,300	33.5	1,500	21.3	79.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年12月期3Q	20,071,093株	2019年12月期	20,071,093株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	1,093,341株	2019年12月期	1,093,311株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年12月期3Q	18,977,758株	2019年12月期3Q	18,974,519株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業務等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

・当社は、2020年11月9日(月)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。決算説明会資料は当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年9月30日)における世界経済は、緩やかな回復基調で始まりまし。しかしながら新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)の世界的大流行の影響により急速に減速、依然として厳しい状況にあるなかでも、経済活動の再開が段階的に進められ持ち直しの動きも見られました。わが国経済も、感染症とそれに伴う自粛の影響が残り依然として厳しい状況にあります。社会経済活動のレベルを引き上げていくなか、内需や世界経済の底入れに伴い輸出に持ち直しの動きが見られました。先行きについては、世界経済の不確実性や地政学的緊張、感染症の世界的第2波の懸念や実体経済への影響等、内外経済に十分注視する必要があります。

エレクトロニクス業界は、世界各国での外出自粛による在宅勤務や自宅学習の増加、それに伴うデータ通信量急増を背景に、サーバーやパソコン、タブレット端末に強い需要がありました。自動車の生産には回復の動きが見られました。一方、スマートフォンの販売は世界的に不振でした。

当社グループの関係市場である電子基板・部品業界は、エレクトロニクス業界の影響を受け、サーバーやパソコン、タブレット端末向けの需要は引き続き堅調に推移し、自動車の生産回復の動きに伴いそれらに搭載される半導体や電子部品等の需要も回復の傾向が見られました。一方、スマートフォン向けの関連製品は低調でした。

電子基板は、高密度化や技術革新が進んでおります。IoT関連市場は引き続き高い成長が見込まれ、第4世代(4G)から高速大容量の第5世代(5G)への切り替えに注目が集まる移動通信システムは普及に向け取り組みが更に活発化しており、特に次世代データセンターに関係する高性能パッケージ基板向けの生産体制強化に向けた設備投資も進展しております。

このような環境のもと、当社グループは高密度電子基板向け製品の開発、販売に注力いたしました。半導体を搭載するパッケージ基板向けに高いシェアを持つ超粗化系密着向上剤「CZシリーズ」はサーバーやパソコンの需要増加により好調な結果となりました。多層電子基板向け密着向上剤「V-Bondシリーズ」は、関連する自動車市場の影響を受け回復の動きが見られました。一方、ディスプレイ向け「SFシリーズ」、「EXEシリーズ」の販売は関連する電子機器の需要に一巡の傾向が見られ売上が鈍化しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は87億28百万円(前年同期比6億23百万円、7.7%増)となりました。販売費及び一般管理費は36億11百万円(前年同期比34百万円、0.9%減)となり、営業利益は18億36百万円(前年同期比4億70百万円、34.4%増)、売上高営業利益率は21.0%となり、前年同期の16.9%と比較し4.1ポイント改善しました。経常利益は18億19百万円(前年同期比4億23百万円、30.4%増)となりました。税金等調整前四半期純利益は17億57百万円(前年同期比3億69百万円、26.6%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億96百万円(前年同期比1億89百万円、18.8%増)となりました。

売上高の内訳は、薬品売上高は84億38百万円(前年同期比4億95百万円、6.2%増)、機械売上高は2億36百万円(前年同期比1億76百万円、296.6%増)、資材売上高は46百万円(前年同期比42百万円、47.4%減)、その他売上高は7百万円(前年同期比6百万円、48.2%減)となりました。

海外売上高比率は52.7%となり、前年同期に比べ2.6ポイント減少しました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

日本では、外出自粛による需要の影響を受け、パソコンやタブレット端末が比較的好調で、関連する製品が好調に推移し、当第3四半期連結累計期間の売上高は42億81百万円(前年同期比5億41百万円、14.5%増)、セグメント利益は10億86百万円(前年同期比3億4百万円、39.0%増)となりました。

台湾では、サーバーや基地局向けパッケージ基板が好調に推移し、関連する製品の売上が増加し、当第3四半期連結累計期間の売上高は18億9百万円(前年同期比2億29百万円、14.5%増)、セグメント利益は2億70百万円(前年同期比10百万円、4.1%増)となりました。

香港(香港、珠海)では、感染症の影響で上半期に一時的に需要が落ち込みましたが、その後の反動で売上は回復し、当第3四半期連結累計期間の売上高は7億86百万円(前年同期比41百万円、5.6%増)、セグメント利益は1億77百万円(前年同期比47百万円、36.3%増)となりました。

中国(蘇州)では、上半期に比較的好調に推移したタブレット端末に関連する製品に鈍化が見られ、当第3四半期連結累計期間の売上高は14億30百万円(前年同期比1億7百万円、7.0%減)、セグメント利益は2億46百万円

(前年同期比1億22百万円、98.9%増)となりました。

欧州では、感染症の影響を受け、特に車載基板の減少により関連する製品が低調で、当第3四半期連結累計期間の売上高は3億93百万円(前年同期比1億9百万円、21.8%減)、セグメント利益は50百万円(前年同期比29百万円、36.7%減)となりました。

タイは、今後拡大する東南アジア市場を深耕するために2017年5月29日に当社6社目の子会社を設立し、2019年9月から稼働いたしましたが、売上への貢献は少なく、当第3四半期連結累計期間の売上高は27百万円、セグメント損失は91百万円(前年同期は84百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、現金及び預金の増加、減価償却の増加による有形固定資産の減少等により、前連結会計年度に比べて22百万円増加し、200億13百万円となりました。

負債は、設備関係支払手形の減少、未払法人税等の増加等により、前連結会計年度に比べて6億76百万円減少し、32億23百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加、為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度に比べて6億98百万円増加し、167億90百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は83.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、本日(2020年11月9日)公表の「2020年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」において、2020年12月期通期連結業績予想を修正いたしましたのでご参照ください。

本資料に掲載されております予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

なお、当期見通しの前提となる為替相場は、下記のとおりです。

前連結会計年度および当期見通し為替レート

	2019年12月期 (円)	2020年12月期 (円)
NT\$	3.54	3.61
RMB¥	15.85	15.34
€	122.53	121.25
THB	3.52	3.42
US\$	109.37	107.46

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,957,484	5,080,129
受取手形及び売掛金	3,128,711	3,122,400
電子記録債権	262,127	265,651
商品及び製品	420,647	391,864
仕掛品	132,689	97,616
原材料及び貯蔵品	391,591	422,367
その他	149,125	134,934
貸倒引当金	△3,845	△3,879
流動資産合計	9,438,532	9,511,085
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,939,730	7,100,194
減価償却累計額	△2,571,047	△2,737,042
建物及び構築物(純額)	4,368,683	4,363,152
機械装置及び運搬具	2,734,071	2,954,590
減価償却累計額	△1,847,339	△2,037,492
機械装置及び運搬具(純額)	886,732	917,097
工具、器具及び備品	1,254,504	1,239,742
減価償却累計額	△871,792	△922,592
工具、器具及び備品(純額)	382,711	317,149
土地	2,933,082	2,927,077
使用権資産	79,786	64,016
減価償却累計額	△35,075	△24,009
使用権資産(純額)	44,710	40,006
建設仮勘定	381,422	272,270
有形固定資産合計	8,997,342	8,836,754
無形固定資産	139,574	133,207
投資その他の資産		
投資有価証券	580,704	693,206
退職給付に係る資産	690,913	707,412
繰延税金資産	47,426	6,549
その他	97,344	125,692
投資その他の資産合計	1,416,389	1,532,861
固定資産合計	10,553,306	10,502,823
資産合計	19,991,839	20,013,908

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,166,724	1,004,078
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	250,000	—
未払金	372,262	317,157
未払費用	135,894	114,637
未払法人税等	122,431	256,344
賞与引当金	313,740	402,346
役員賞与引当金	30,470	25,179
設備関係未払金	62,075	69,589
その他	657,582	163,911
流動負債合計	3,511,180	2,753,246
固定負債		
繰延税金負債	236,967	310,081
退職給付に係る負債	43,271	44,270
株式報酬引当金	71,972	77,769
その他	36,447	38,451
固定負債合計	388,659	470,572
負債合計	3,899,840	3,223,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	594,142	594,142
資本剰余金	541,273	541,273
利益剰余金	15,486,355	16,184,049
自己株式	△1,175,796	△1,175,844
株主資本合計	15,445,974	16,143,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185,948	261,234
為替換算調整勘定	304,802	253,949
退職給付に係る調整累計額	155,273	131,283
その他の包括利益累計額合計	646,024	646,468
純資産合計	16,091,998	16,790,089
負債純資産合計	19,991,839	20,013,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	8,104,891	8,728,245
売上原価	3,092,686	3,280,298
売上総利益	5,012,205	5,447,947
販売費及び一般管理費	3,646,158	3,611,576
営業利益	1,366,046	1,836,371
営業外収益		
受取利息	13,847	17,869
受取配当金	6,805	6,189
試作品等売却収入	25,277	8,298
受取保険金	31,827	—
その他	14,371	17,341
営業外収益合計	92,128	49,697
営業外費用		
支払利息	2,238	1,527
売上割引	3,439	2,502
為替差損	55,443	56,762
その他	1,273	5,660
営業外費用合計	62,395	66,453
経常利益	1,395,780	1,819,615
特別利益		
固定資産売却益	2,255	492
投資有価証券売却益	—	2,018
補助金収入	8,804	—
特別利益合計	11,059	2,510
特別損失		
固定資産売却損	32	—
固定資産除却損	18,802	64,772
特別損失合計	18,835	64,772
税金等調整前四半期純利益	1,388,004	1,757,354
法人税等	381,072	561,098
四半期純利益	1,006,932	1,196,255
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,006,932	1,196,255

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,006,932	1,196,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61,697	75,286
為替換算調整勘定	△252,618	△50,852
退職給付に係る調整額	△12,004	△23,989
その他の包括利益合計	△202,925	444
四半期包括利益	804,006	1,196,699
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	804,006	1,196,699
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。